財政再建早めに達成

事業量九億円以上　重点施策でのりきる

市制施行当時の市の財政は、終戦後急激に行われた地方分権主義の影響を受け、人件費の増大と加えて物価騰貴が甚しくしかも従来国家事務、もしくは県で行っていた事務を地方に移したにもかかわらず、必要財源がこれに伴わず、また、六・三・三制の新制中学校建設のための経費捻出に四苦八苦の状態でありました。この頃から毎年の収入と支出のバランスがとれず、遂に昭和三十一年度地方財政再建促進特別措置法の適用を受けるに至ったのでありますが、地財法適用期間中の適切な財政運営が効を奏し適用期間を一年間短縮し、三十五年度においては、前年度より実に二千四百万円余の繰越金をみるまでに至りました。一応このような経過ではありますが、地財法適用期間中でも、できるだけ市民サービスを低下させないよう重点施策を推進してまいったのでありまして、あとで述べますように十年間の事業量は九億円以上に及び、県内中堅都市として着々その地歩を固めつつあります。

財政から見た　市政の振展

以下市制施行当時と現在の財政規模の比較と十年間の収入支出の合計を表①②にならべてみます。

収　入　（表①）

	26年度決算		35年度予算	
	調定額	決算額	予算額	増加歩合
	千円	千円	千円	倍
市税	74,659	61,361	196,980	2.638
交付税	23,924	23,456	57,109	2.434
財産収入	1,713	1,713	1,525	0.890
分担金負担金	632	632	5,172	8.184
使用料手数料	3,156	3,116	12,167	3.854
国庫支出金	13,743	13,743	55,292	4.023
県支出金	2,846	2,846	7,576	2.611
繰越金	1,089	1,089	24,525	22.521
雑収入	1,015	1,015	10,794	10.634
市債	5,530	5,530	30,400	5.497
貸付金返金	4,180	4,180	5,193	1.242
寄付金	220	220	1,946	8.844
計	132,241	118,903	408,678	3.090
特別会計	—	64,833	306,595	4.513
総計		183,736	715,273	3.817

才入半分が市税

市債　公共事業でふくれる

才入においては、依然として、市税が全収入の五〇%を占めています。

国庫支出金の増加は、生活保護・失業対策事業の増大のほか、公共事業として学校・住宅・道路・橋梁の事業費が増大したためであります。

市債の増加は、公共事業の増加によって、各施設に要する国よりの借入金が、これに伴って増加したものです。

寄付金は、始めは主として、道路舗装のための地元受益者の寄付のみでありましたが、三十五年度においては、産業道路工事に対する帝国石油株式会社からの寄付であります。

支出　圧倒的な教育費

工事量増加で土木費ふえる

才出においては、消防費は、昭和二十六年度は、当時自治体警察制のため、警察費も含まれているので、消防費は表の約四分の一になるものです。

特に増加率の多いのは土木費ですが、これは道路橋梁等の工事量の増加によります。

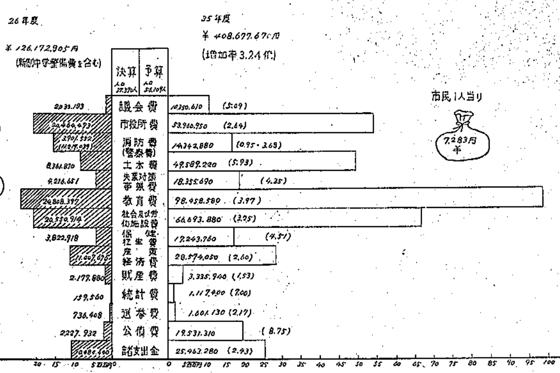
教育費の圧倒的な額の増加は、各学校の全面的増改築のためです。

社会及び労働施設費は生活保護費の増加のほか公営住宅の建設、保育所の増加などで金額がふえております。

公債費は、市債が逐年増加したため必然的にふえてきました。

十年間の才入と才出の各費目ごとの合計額を図表にしますと下表のようになります。

市制施行当時と現在の市の一般会計の比較（表②）



新たな希望に燃えて

市制十周年特集によせて

新津市議会議長　石山常一

石山議長

かえりみれば当市が、昭和二十六年一月一日市制施行以来茲に満十周年を迎え、今回市広報の市制施行十周年特集号を刊行いたしますに当たって市議会を代表して一言ご挨拶を申し上げ、今後共市民各位のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

由来我が新津市は蒲原平野の穀倉地帯に位し水陸交通の要衝に在り、従って鉄道は四通八達し又信濃、阿賀の二大河川は本市の東西を貫流し、舟運の便もおのずから備わり、殊に農業が盛んで農産物の集散も頻繁にして中東蒲原における政治経済の中心地として教育、文化の興隆と共に発展した田園都市として現在に至りました。

而して私共議会人は常に行政水準の向上と都市的施設の整備拡充について重点主義により市勢の発展と市民福祉向上のため総意を結集して微力の限りをいたして参りました。

因みに、先年旧金津・小合・新関と合併後は、特に上水道の全市的配管施設と相まって小中学校の整備と施設の強化・公営住宅の新設・枝肉センターの開設・火葬場及び塵芥焼却場の新設・其他道路の新設・橋梁架替え等々次々に実施して参りました。

斯くして市制施行後十か年をかえりみて些さかなりとも六万市民各位のご理解と将来へのご協力が得られますならば幸甚と存じます。

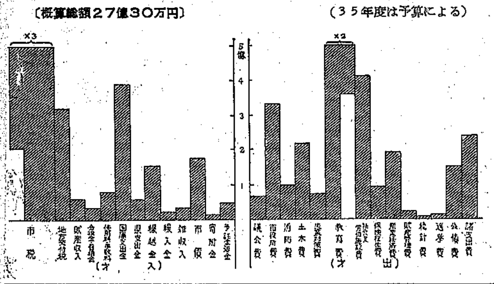
しかしながら時代の流れは洵に目まぐるしく、かつ、その激しさを感じます。

従いまして今後といえども常に新らたなる希望を求めて鋭意努力を重ねる覚悟をいたしておりました処たまたま政府の発表した所得倍増計画による地方産業の開発は当市にとっても、渡りに舟であり、この千歳一遇の好機逸すべからず、着々その基礎調査に乗り出し可及的速やかにその開発計画を樹立したいと念願して居ります。

何卒市民各位におかれましては、私共の微衷お汲みとり下さいまして今後共建設的なご協力とご理解を賜わりたくひとえにお願い申し上げます。

昭和26年度～昭和35年度の10年間の才入・才出の費目毎の合計

〔概算総額27億30万円〕　（35年度は予算による）



3 高速洗滌池・調査池竣功
3 草水地区配水管工事竣功
4 金津村・小合村を合併（人口五万五百六人）
4 市議会改選
4 上水道高速洗滌池操作開始
4 秋葉神社観光道路開通
5 第五中学校第三期工事完成
7 北上・荻島地区配水管工事竣功
7 小合西小学校屋体補強工事完成
9 小合中学校々舎補強工事完成
10 第八回国勢調査
11 七日町・大蔵・中新田・大安寺・柄目木・飯柳地区配水管工事竣功
12 公民館移転

昭和31年

1 小合東部地区配水管工事竣功
1 結小学校改築第二期工事完成
2 金津地区配水管工事竣功（第二期工事）
3 中野・車場地区配水管工事竣功
3 急速濾過池高区ポンプ所竣功
3 第一小学校改築第六期工事完成
3 第五中学校新築第四期工事完成
4 阿賀小学校独立
5 地財法適用を申請
6 小合西小学校増築工事完成
6 満日小学校増築工事完成
7 参議員議員通常選挙
7 七日町の園芸試験地研究所に昇格
7 豪雨のため阿賀能代氾濫
7 阿賀小学校増築工事完成
9 家畜共進会、秋葉グランドで開催
9 公民館、現位置に移転
9 市之瀬地区配水管工事竣功
10 法改正による新教育委員会発足
11 市制施行五周年記念式典
12 財政再建計画承認さる（四月に遡及）
12 秋葉山地区配水管工事竣功
12 五泉開完成

昭和32年

1 新関村との合併につき知事より勧告さる
3 新関村の大部分を合併（人口五万六千十二人）
3 小合西・南部・覚路津地区配水管工事竣功
5 三枚潟地区配水管工事竣功
6 古津・蒲ケ沢地区配水管工事竣功
6 市長選挙
6 高松宮市石油鉱場視察のため来市
7 全国優良農機具展示会を五中で開催
7 市農業委員会改選
7 第一小学校プール新設工事完成
8 第一小学校改築第七期工事完成
8 第四幼稚園新築工事完成
10 小合中学校便所新築工事完成
10 第一中学校体育館新築工事完成
12 新関地区配水管工事竣功（第一期）

昭和33年

2 第五中学校新設五期工事完成
3 阿賀小学校改築第一期工事完成
3 金津中学校新築第一期工事完成
3 第五幼稚園増築工事完成
3 小合中学校グランド整備工事完成